

第1回 学校運営協議会 記録

		学校名	横手市立増田中学校	
開催日時・時間・場所		令和6年5月10日（金）・午後3時～・増田中学校会議室		
出席者数		9名	欠席者数	1名
協議案件		・令和6年度コミュニティ・スクール基本構想について ・今年度の学校行事と地域協働活動について ・意見交換		
協議の主な内容 ○これまでの取り組みを継続し、今後、実践につなげられそうなこと ●時間をかけて慎重に協議をしなければならないこと ☆今後の取組への提言等		【コミュニティ・スクール基本構想、グランドデザインについて】 ・会社の再建時にリクルート社からコンサルティングされた「自ら問題を発見して、自ら解決に取り組む」という内容とほぼ同義で素晴らしい構想である。 ○昨年の運営協議会の流れを汲んでいて嬉しい。生徒らが総合的な学習の時間で考えた提案を実践に結びつけることは大変だが、運営協議会も力を貸して是非挑戦させたい。 ☆チャレンジは必ずしも成功するとは限らないが、失敗の経験も大きな財産である。 【学校行事と地域協働活動について】 ○2年生の農業体験は7軒の農家に委託した。毎年快く受け入れてくれる。農家の方々は子どもたちとふれ合う機会がもてて嬉しいと言っている。しかし、高齢化が進み、今後受け入れが年々厳しくなる。 ●昔は学習発表発表会ではなく、学芸会だった。その当時は、演劇を通して増田の歴史や文化を覚えたものである。 学校運営協議会から ☆農家によって、昔ながらの農作業を教えるところと、現代のスマート農業を教えるところがあり異なるようである。これからは、品質や収穫量を高めるための拘り（技術）を教えてもらえれば、興味関心が高まり、将来農業を志す子どもたちが増えるのではないかな。 ☆増田地区は少子高齢化が課題となる。実際、増田小は10年前は450名の児童がいたが、現在は1／3である。保・小・中・高が連携して何かできることはないかを探ることが大切ではないかな。 ☆増田小学校の「梵天部」を増田中学校でも続けてもらいたい。伝統行事を大事にしている増田の文化を守りたい。 ☆増田は歴史は深く、それを知る人も多くいる。先人が苦労して築き上げてきた文化と歴史を子どもたちに伝承したい。知ることで生まれ育った増田が誇りとなるだろう。また同時に、少子高齢化で農業に就農する若者がいなくなる問題をどう解決するか、どうやって増田を守るかも考えさせたい。 ☆昨年度の総合的な学習の時間で提案された「Masupoly」というゲームは、是非実現させたい。ゲームの中に増田の歴史や文化を取り入れて、その情報を多くの人に知ってもらえることができる。 ☆開村400周年の記念行事に子どもたちも関わってもらいたい。また、県内で最も古くから行われている花火大会が今年100周年を迎えることも知ってもらいたい。 学校から ☆今年の総合的な学習の時間では、昨年生徒らが提言した内容を実現してみよう予定である。そのお手伝いにご協力願いたい。 ☆職場体験先の拡充については、学校運営協議会委員からも紹介があると心強いので、ご協力願いたい。 ・失敗から学びがあるように支援することが私たちの役目である。保・小・中での学びを高校でも継続できるよう検討したい。今後も学校運営協議会に参加してそのヒントをつかみたい。（増田高校） ・保・小・中・高までの連携を大切にし、交流する機会を増やしたい。その経験が「増田が好き」という気持ちにつながればよい。（ますだ保育園）		
次回の連絡		7月5日（金）に総合的な学習の時間の発表会（実践内容の紹介）を参観し、専門的な見地から助言していただく予定。		
記録者		増田中学校 教頭		